

陳情第8号	平成23年5月23日受理
付託委員会	福祉常任委員会
件名	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める件
陳情要旨	<p>長寿世界一を誇る日本の医療は、長年にわたる社会保障費抑制政策のもとでも、医師、看護師などの懸命な努力で支えられてきました。</p> <p>しかし、医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く深刻な人手不足になっています。医療現場の実態はかつてなく過酷になっており、全国各地で医師や看護師等の不足が深刻化しています。</p> <p>看護師など夜勤交代制労働者の労働条件を抜本的に改善し、人手を大幅にふやして、安全・安心の医療・介護を実現することが大切になっています。医療・社会保障予算を先進国並みにふやし、国民が安心して暮らしていける制度が求められています。</p> <p>以上の趣旨から、看護師等の大幅増員を実現し、安全で行き届いた医療・看護・介護の拡充を図るため、下記事項につき、地方自治法第99条に基づく国に対する意見書を決議していただけますよう陳情いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ILO看護職員条約に基づき、看護師などの夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間、勤務間隔を12時間以上とすること。 2. 医療、社会保障予算を先進国（OECD）並みにふやし、医師・看護師・看護職員等を大幅にふやすこと。 3. 国民（患者・利用者）の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。